

【訂正】本誌掲載論文に誤りがありましたので、お詫びして下記のとおり訂正いたします。(編集部)

● vol. 37 no.3 2009

■難消化性デキストリンの食後血糖，インスリン，中性脂肪の上昇に及ぼす影響

・p.282 「III 考察」の最後に下記の文章を追加

さらに，難消化性デキストリンの食後中性脂肪上昇抑制作用の特徴を明確にするため，試験2の結果を用いて層別解析を行った。被験者12名中，空腹時血中中性脂肪値が150 mg/dL未満である正常域の被験者10名の結果を用いて食後中性脂肪値の経時変化について群間比較した。その結果，難消化性デキストリン摂取群は対照群と比較して食後1，2，3時間の血中中性脂肪値の実測値および変化量が有意に低値を示した（いずれも  $p < 0.05$ ）。また，食後血中中性脂肪値の濃度曲線下面積（ $AUC_{0-6h}$ ）においても有意差が認められた（ $p < 0.05$ ）。つまり，空腹時中性脂肪値が正常域の人においても難消化性デキストリンの食後中性脂肪上昇抑制効果が発揮されることが示された。

● vol. 47 no.3 2019

■酢酸菌（*Gluconacetobacter hansenii* QP-1）は健常者の鼻の不快感を軽減する  
—無作為化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験—

・p. 461 和・英タイトルおよび，p. 462 右段「1 試験食品と摂取量」↓3行目の酢酸菌の名称

（誤）酢酸菌（*Gluconacetobacter hansenii* QP-1）

（正）酢酸菌（*Gluconacetobacter hansenii* GK-1）

● vol. 47 no.5 2019

■当帰芍薬散の着床不全モデルラットに対する改善効果

・p. 721 脚注の英文著者名

（誤）Fukujin Motoyama

（正）Fukuhito Motoyama